

SYMPOSIUM

# “豊かさの価値”とは

〈コロナ後の社会を見据え、これからの鳥取の暮らしを考える〉

定員200名  
要申込 | 無料

日程 2021.5.12(水) 13:30-16:30

場所 とりぎん文化会館 小ホール

[鳥取市尚徳町101-5]

主催：日本財団 共催：鳥取県 特別後援：新日本海新聞社

  
鳥取県



  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION  
For Social Innovation



# “豊かさの価値”とは

コロナ後の社会を見据え、これからの鳥取の暮らしを考える

コロナによって社会環境が激変する中、豊かに人間らしく暮らしていくとはどういうことなのか、改めて考える時に来ています。これまでの、富も機会も、そして人も東京に一極集中するという状態でしたが、今後はその流れが大きく変わっていく可能性もあります。

貨幣価値に力点が置かれた暮らしから、人と人との繋がりや、障がいや病気を患っている方への配慮、自然と共生した暮らしなど、貨幣だけでは測ることのできないものに価値を置いた暮らしへ。人口の少ない鳥取県だからこそ、このような新しい価値観を提示、発信していくことができるのではないのでしょうか。

日本財団では鳥取県と連携して、「暮らし日本一の県鳥取県」をキャッチフレーズに、地方創生に関する取り組みを2016年から約5年にわたって行ってきました。この取り組みでは、年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが社会に参加する機会と環境をつくることで、住み慣れた地域の中で尊厳を持った暮らしを実現することを目指しています。

本シンポジウムでは、日本財団がこれまで鳥取県で取り組んできた内容を振り返りながら、改めて鳥取県における暮らし、そして“豊かさの価値”を見つめ直し、これからの鳥取について皆様と一緒に考えていけたらと思います。

## タイムスケジュール

▶ 冒頭挨拶 開始 13:30～  
鳥取県 平井知事、日本財団 尾形理事長

▶ 基調講演 (30分)  
『ポストコロナを見据えた  
分散型社会の在り方』

広井 良典 (京都大学 教授)

▶ 事業概要説明・映像紹介

▶ パネルディスカッション【1部】 (50分)

地方創生、鳥取プロジェクト  
～これまでの5年間を振り返る～

モデレーター：原田 博一

パネリスト：

【鳥取で活躍するプレーヤー】 貝本 正紀

【有識者】 玉村 雅敏

【中間支援組織】 毛利 葉

【日本財団】 木田 悟史

▶ 休憩 (5分)

▶ パネルディスカッション【2部】 (50分)

これからの鳥取を考える  
～市民一人一人が公の担い手に～

モデレーター：原田 博一

パネリスト：

【鳥取で活躍するプレーヤー】 神戸 貴子

【有識者】 広井 良典

【メディア関係者】 森原 昌人

【日本財団】 木田 悟史

▶ 閉会 ～16:30 終了

パネルディスカッションを聞いての感想、  
今後に向けて

## 登壇者プロフィール



広井 良典 (京都大学 教授)

1984年東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授を経て2016年4月より京都大学こころの未来研究センター教授。著書に『コミュニティを問いなおす』、『ポスト資本主義』、『人口減少社会のデザイン』など多数。



原田 博一 (株式会社イミカ 代表)

1999年富士通入社、2007年富士通研究所、2017年より現職。ソフトウェアエンジニアを経て、インタビューや現場観察による質的組織分析に従事。コミュニケーションの観点からの地域・組織活動の伴走支援を得意とする。



貝本 正紀 (アマゾンラテルナ鳥取 大山オフィス代表)

早稲田大学卒。2015年に鳥取大山町に移住。東京の映像制作会社アマゾンラテルナのサテライトオフィスを開設し、超住民参加型のケーブルテレビ「大山チャンネル」をはじめ、住民を巻き込んだ映像づくりに取り組む。



玉村 雅敏 (慶応義塾大学SFC研究所 所長)

慶応義塾大学総合政策学部教授。慶応義塾大学総合政策学部卒業。同大学院政策・メディア研究科博士課程、千葉商科大学政策情報学部助教授等を経て現職。博士(政策・メディア)。専門分野はソーシャルマーケティング、公共経営など



毛利 葉 (公益財団法人とっとり県民活動活性化センター 常務理事兼事務局長)

1960年生。高校まで鳥取で育ち、広島で子ども系NPOに就職。NPO法人ひろしまNPOセンターを経て、2014年、とっとり県民活動活性化センター常務理事兼事務局長にの就任現在に至る。



神戸 貴子 (N.K.Cナーシングコアコーポレーション合同会社 代表)

自らの子育てや介護の経験から、親孝行代行サービス「わたしの看護婦さん」を創業。遠距離介護や、仕事と介護の両立に苦しむ現役世代のサポートを行う。平成30年内閣府より「女性のチャレンジ賞」、翌31年東京都知事より「女性の翔き賞」を受賞。



森原 昌人 (株式会社 新日本海新聞社 編集制作局 参与論説委員長)

1957年、鳥取市生まれ。1981年3月入社。鳥取県政など政治・行政を中心に幅広い分野を取材。報道部長、編集制作局次長、執行役員編集制作局長など歴任し、現在に至る。社説、コラム「海潮音」など執筆。



木田 悟史 (日本財団 鳥取事務所長)

慶応義塾大学卒 2000年より日本財団にて勤務。管理部門や助成事業、東日本大震災復興支援事業などに関わり、2016年より鳥取県に駐在し、鳥取県庁と共同で地方創生プロジェクトの推進にあたっている。

## 申し込み・お問合せ

■ お申し込みはこちらから

申込フォームまたは

右記FAX・

E-mailにて

<https://forms.gle/ycffwWkuwex58TZ>



■ お問い合わせ

日本財団鳥取事務所 木田、安部 (鳥取県地域づくり推進部 共生社会プロジェクト推進室内)

電話：0857-26-7617 FAX：0857-26-8120

E-mail: [totnf@ps.nippon-foundation.or.jp](mailto:totnf@ps.nippon-foundation.or.jp)

HP: <http://totnf.jp/report/>

